

ごあいさつ



静岡県議会議員
鈴木 啓嗣

穏やかな日差しが心地よい季節。皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

今、静岡県には、喫緊の課題であるコロナ対策をはじめ、少子化・人口減少、防災・減災、経済の安定、そして地域活性化等、様々な課題が存在します。その中で国難ともいわれるコロナ問題。未だ様々な課題はありますが、ワクチン、変異株、経口薬などへの対応が進んだその先には、日本全体がコロナ問題を乗り越える日が必ずやって来ます。

その時、この地域が他地域に遅れることなく新たな一步を踏み出すためには、現在行われている事業を止めることなく、厳しい財政状況下においても、継続できる形で進めていくことが重要であると考えます。そのためには、今回の新型コロナウイルス感染症の経験を契機に、生活様式や働き方の多様化が急速に進む今こそ、あらためて皆様の声を的確に代弁し、この地域で今何が必要なのか、何をすべきなのかを、積極的に提言していかなければならないと強く感じております。

直接お会いできる機会が限られる時節ではありますが、ご意見、ご要望等、ぜひ皆様の声をお聞かせいただきたく存じます。

皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに、日頃の温かなご支援に心からの感謝を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

ご覧
ください

静岡県議会本会議での質問

令和3年7月29日に、下記内容で鈴木啓嗣が質問いたしました。

自民改革会議ホームページ(<http://www.jimin-kk.com>)で、質問・答弁を動画で見ることができます。

質問1・アフターコロナを見据えた野球場の検討について

(答弁) 新型コロナ危機による歴史的転換点を、本県の更なる発展のための絶好のチャンスと捉え、アフターコロナの時代にふさわしい、県民の皆様が大きな夢を抱くことができる新たな野球場の整備に向け、着実に取り組んでまいります。

質問2・静岡モデル防潮堤の整備推進について

(答弁) 湖西市をはじめ、県内の沿岸市町が進める静岡モデル防潮堤の整備を引き続き積極的に支援し、安全で安心して暮らせる地震・津波に強い県土づくりに取り組んでまいります。

質問3・浜名湖の漁業者支援について

(答弁) 浜名湖の豊かな資源の回復に努めるとともに、水揚量の確保に取り組む漁業者・養殖業者の経営継続を、全力で支援してまいります。

質問4・入院治療により登校できない生徒への学業支援について

(答弁) 令和4年度から入院治療中でも単位認定が可能となるよう準備を進め、県内のいずれの高校であっても入院治療中の生徒が安心して学び続けられる環境を早期に整え、誰一人取り残さない学びの実現を図ってまいります。

質問5・浜松市沿岸部の松くい虫被害対策について

(答弁) 浜松市や地域住民の皆様と連携して、推進計画に基づく松くい虫被害対策に取り組み、地域の財産である松林を次代に継承してまいります。

質問6・高濃度PCB廃棄物の処理の推進について

(答弁) 国や市町、業界団体と連携し、対象事業者を早期に把握し、処理期限が迫っていることを繰り返し伝えるとともに、処理方法を丁寧に指導することにより、確実な処理を推進してまいります。



静岡県議会常任委員会



令和3年度は、総務委員会に所属しており、副委員長を務めております。総務委員会では県の将来をよくしていくための計画づくりや、県の予算をつくったり、税金を集めたり、市町の仕事の手助けをする仕事に関する事項を審議しています。

政務調査活動等

新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい財政状況下でも、やるべきこと事はたくさんあります。



各団体との意見交換



県への地域要望活動



環境保全活動に参加



松くい虫被害現場確認



急傾斜地工事状況確認



浜名湖舟運事業状況確認



水産試験場の状況調査

視察活動等



野球場検討の視察



福祉住宅建設現場視察



県政報告会



地域の状況聴取

県政報告会等を実施

新型コロナウイルスに打ち勝つ静岡県民支え合い基金



新型コロナウイルス感染症の最前線で活躍されている方々などを支援するため、県議会議員全員の立案で、令和2年5月、「新型コロナウイルスに打ち勝つ静岡県民支え合い基金」を設立し、皆様からの寄附を募っております。

~One for all, All for one~